

(2023年1月25日)

## 一般社団法人 大阪府山岳連盟 登山学校「山スクール」

### 2023年度(第8期)「入校のご案内」

一般社団法人 大阪府山岳連盟 会長 小畑 和人  
登山学校「山スクール」 校長 石田 英行

連盟では、登山を愛する皆さんに安全登山の基礎的知識や技術を身に付けていただくために登山学校「山スクール」を開設しています。

本スクールでは、皆さんの登山経験を基に、初心者の方から、岩登りや積雪期登山を学んでみたい方まで、それぞれの経験と希望によって、4クラス制で学んでいただきます。

スクールの指導は、(公財)日本スポーツ協会公認の山岳指導員の有資格者、当連盟の登山インストラクターによって行ないます。

「スクールの目的」は、生徒の皆さんの登山ガイドをしたり、ツアー登山のように山に連れて行くことではなく、皆さん自身の意志によって登山に必要な知識や技術を身に付けて、安全に経験を積み重ねていただくことです。

そのために、座学・実技・研修登山を学習の場として設けております。  
安全で充実した登山を学んでいただきたいとスクールスタッフ一同が願っております。

**新型コロナ感染が終息している状況ではありません。密の回避や健康チェック、適切な現場対応などできる限りの感染防止対策を施して、現状に対応した形で講義を進めてゆきます。**

**但し、感染の再拡大等で山スクールの活動や生徒、講師の健康に支障をきたすと判断した場合は、開校中であっても休止等の措置をとることがありますので、予めご承知おきください。尚、休止の場合は相応の返金をさせていただきます。**

#### (1) 受講コース(クラス)について

受講期間 4月～3月の1年間

- **トレッキング1** ⇒新規、および再受講者  
**トレッキング2** ⇒新規、および**トレッキング1からの進級希望者、再受講者(優先)**
- **アルパイン1** ⇒新規、および**トレッキング2からの進級希望者、再受講者(優先)**
- **アルパイン2** ⇒**アルパイン1からの進級者のみ(過年度を含む)**
- 新規入校希望者は、それぞれのクラスの定員に至るまで抽選によって選定します(経験や体力、年齢等を考慮する場合があります)。
- 授業料はスクール運営費、座学、実技等の参加費用に充当します。

### ① トレッキング1(T1)クラス

これから山歩きを始めようという方、基本からを学びたい方のクラス。近郊の軽登山などで基礎的な知識、技術を学び山小屋泊や近郊の雪山登山も経験します。

- ◆ 募集人数——10名程度
- ◆ 授業料——43,000円／年間(税込み)

### ② トレッキング2(T2)クラス

近郊トレッキング、サポート登山等を経験して、登山に慣れてきた方のクラス。緊急事態を想定して疑似体験する。岩場通過、雪山登山など、ステップアップも視野に入れます。

- ◆ 募集人数——10名程度
- ◆ 授業料——43,000円／年間(税込み)

### ③ アルパイン1(A1)クラス

アルパイン登山の基礎を学ぶクラス。岩登り、担荷トレーニングを通して近郊での無雪期、積雪期登山を経験します。

- ◆ 募集人数——10名程度
- ◆ 授業料——50,000円／年間(税込み)

### ④ アルパイン2(A2)クラス

岩登り、雪山技術の習熟を目指したい人。

(アルパイン1からの進級者のみ。受講希望者は2023年度でアルパイン1を学んだ翌年以降に受講申込をしてください。)

- ◆ 募集人数——6名程度
- ◆ 授業料——58,000円／年間(税込み)

## (2)各クラスの登山目標・履修内容

クラス	T1	T2	A1	A2
無雪期	2,000m～3,000m級の小屋泊の山行ができる知識・技術・体力を習得する。	3,000m級のテント2泊の山行ができる知識・技術を習得する。 近郊の低山で地形図を見て歩ける読図力の習得。	3000m級岩稜の一般コースのテント泊ができる知識・技術を習得する。	前穂高岳北尾根、剣岳・ハツ峰六峰Cフェース登攀ができる知識・技術を習得する。
積雪期	金剛山、三峰山、観音峰クラスでの日帰り山行ができる知識・技術・体力を習得する。	比良山、伊吹山、大峰山クラスでの日帰り山行ができる知識・技術を習得する。	大山、伊吹山、八ヶ岳、乗鞍岳、西穂高岳独標、木曾駒ヶ岳レベルの登山技術。	大山弥山尾根、八ヶ岳(阿弥陀岳北稜)、乗鞍岳、唐松岳、木曾駒ヶ岳レベルの登山技術。

<p>履修内容 (クラス別)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 登山に必要な装備、服装</li> <li>● 登山計画書の作成、COMPASS</li> <li>● 無雪期歩行の基本</li> <li>● アイゼン歩行(6本爪以上)</li> <li>● 縦走ができる体力向上</li> <li>● 読図、コンパス、GPSの利用</li> <li>● パーティーシップ</li> <li>● 登山道での対応 三点支持、鎖場、梯子</li> <li>● 歩荷、トレーニング方法</li> <li>● 緊急時対応(天候、傷病) ツェルトの利用</li> <li>● 事故事例から学ぶ</li> <li>● 熱中症対策</li> <li>● 気象の基本</li> <li>● 小屋の利用</li> <li>● 山岳保険の理解と重要性</li> <li>● 行動食、食料計画</li> <li>● 自然保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽量化・応用のきく装備、服装</li> <li>● テント2泊の縦走ができる体力をつける</li> <li>● 藪漕ぎができる読図力を付ける</li> <li>● 道迷い時の対応</li> <li>● 標布の付け方</li> <li>● パーティーシップ(突発事項に対する対応)</li> <li>● 無雪期のビバーク</li> <li>● 事故事例から学ぶ</li> <li>● 熱中症対策</li> <li>● 低体温症対策</li> <li>● 凍傷対策</li> <li>● 気象</li> <li>● アイゼン歩行(10本爪以上)・ピッケルの使い方</li> <li>● 雪山でのルート選択</li> <li>● 雪山でのビバーク</li> <li>● 山岳保険の理解と重要性</li> <li>● フィックスロープ設置済岩場での登下降、トラバース</li> <li>● 基本のロープワーク</li> </ul>	<p>【基本技術・岩登り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 用具・装備の使用法</li> <li>● クライミングシステム</li> <li>● ロープワーク、コール、登攀形式、その他</li> <li>● 確保技術 アンカー、ランニングビレー、トップの確保、フォロワーの確保、槽での確保 訓練、その他</li> <li>● 懸垂下降</li> <li>● 様々なホルルドの使い方</li> <li>● 確保からの自己脱出(緊急時対応)</li> <li>● 夏のテント生活</li> <li>● 緊急時のビバーク</li> <li>● 沢登り初級</li> <li>● 15~20kgの担荷力</li> </ul> <p>【積雪期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雪上歩行</li> <li>● ラッセル技術</li> <li>● アイゼン・ピッケル技術</li> <li>● 雪上のロープワーク</li> <li>● 雪上の確保技術</li> </ul>	<p>【基本技術・岩登り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 確保技術 トップの確保、フォロワーの確保、槽での確保 訓練</li> <li>● 懸垂下降</li> <li>● 岩場での初歩的セルフレスキュー(自己脱出、ローワーダウン、セルフレスキュー用ロープの結び方)</li> <li>● フィックスロープの張り方と利用法</li> <li>● 5.9(IV級)程度のリード</li> <li>● アイゼン装着での岩登り</li> <li>● 沢登り</li> <li>● 17~22kgの担荷力</li> </ul> <p>【積雪期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ラッセル技術</li> <li>● アイゼン・ピッケル技術</li> <li>● 滑落停止</li> <li>● スタンディングアックスビレー</li> <li>● スノーピケット、フレークの使い方</li> <li>● 雪崩対策</li> </ul>
------------------------	---	--	--	---

<p>履修 内容 (共通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フリクションヒッチをマスターして岩場を通過する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 滑落停止</li> <li>● ビーコン等の雪崩対策</li> <li>● ツエルトの利用方法 設営、宿泊、緊急時ビバーク、その他</li> <li>● 冬山のテント生活</li> <li>● 雪上搬送</li> <li>● 20～25kgの担荷力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アイゼンでの登攀(雪壁、岩稜)</li> <li>● ツエルト泊</li> <li>● 雪洞</li> <li>● 雪上でのビバーク</li> <li>● 雪上搬送</li> <li>● 25kg以上の担荷力</li> </ul>
	<p>1. 登山の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的歩行、行動技術</li> <li>● 登山計画の立案と計画書の作成</li> <li>● 適切な装備の使用</li> <li>● 気象、現地情報、リスク等の情報収集</li> <li>● 読図 - 地図を活用しての行動</li> <li>● 山岳保険の理解</li> <li>● 体力、脚力を身につける(自主トレを含む)</li> </ul> <p>T1 - 担荷 10kg 以上で 6 時間の登山道の歩行ができる</p> <p>T2 - 担荷 15kg 以上で 6 時間の登山道の歩行ができる</p> <p>2. 緊急事態への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病気、ケガ、低体温症、凍傷の理解と応急手当</li> <li>● 道迷いの対処やビバーク(緊急露営)</li> <li>● 登山道の搬送</li> </ul> <p>3. パーティー単位の行動の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リーダーシップ、メンバーシップ、ペース配分</li> </ul> <p>4. 雪山技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的歩行、行動技術</li> <li>● アイゼン、ストックの適切な使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遭難対策(緊急時の対応、緊急連絡先の対応、岩場・雪上での遭難対策技術)</li> <li>● 登山計画の立案と計画書の作成</li> <li>● リーダー、サブリーダー、食担、装備、気象、渉外、会計などの役割と留意事項とチームビルディング</li> <li>● 登山のリスクと対策</li> <li>● 山の気象と天気図</li> <li>● 冬山の気象と雪崩</li> <li>● 読図(ルート図、沢の遡行図、ルートファインディング)</li> </ul>	

### (3)各クラスの必要装備について **別紙参照**

それぞれのクラスでは、実技や研修登山で別紙のような装備が必要になります。  
新しく購入される場合、不明の点は担当講師に相談下さい。

### (4)各クラスの年間学習予定 **別紙参照**

2023年度の「山スクール講義日程」に基づいて学習します。  
日程、内容、講師等は天候やその他の都合により変更または中止する場合があります。

### (5)座学、実技、研修登山について

#### ① 座学 年間 12 回

T1 オンライン(Zoom) 時間:19:00~20:30 動画にて後日の聴講可

T2 実技に組み込み

A1,A2 対面(大阪セルロイド会館、または東成区民センター) 時間:19:00~21:00

#### ② 実技 年間 12 回

アルパイン1、2クラスは前夜泊で行う場合もあります。

※「前夜泊」:実技の前日夜、実技場所の最寄り駅などに集合して、近くの適所にテント、ツェルトなどで泊まり、翌朝から実技を行ないます。

#### ③ 研修

年間 2 回、下記のいずれかで実施します。

- 履修目標に合わせた登山。

座学、実技で学んだことを基に参加者全員で役割分担し、登山計画書の作成(登山ルート、食料・必要装備、緊急連絡先、現地の交通状況、天候の情報等の収集)を行い、登山を実施します。

担当指導員は、もちろん助言し、登山に同行します。

- 指定した連盟主催の講習会に参加する。

実技の遠征費、研修の経費は、授業料に含まれていません。参加する生徒で、または個人でその都度精算します。

### (6)各クラスの修了認定について

座学、実技、研修の参加状況と知識、技術の習得程度によって修了を認定し、修了証をお渡します。

- 座学、実技の各 9 回以上の出席。
- 上記に満たない場合は研修登山、岳連主催の講習会への参加状況、熱意、知識、技術の習得程度を考慮する場合があります。

注)T1、T2、A1 クラスでは1年に限り再受講を認めます。

### (7)入校の条件及び手続きについて

- ① パーソナル会員(個人会員制度)に登録となります。

- ・ 年会費(3000円)は、授業料から充当されます。

② 下記に記載した各種費用は授業料に含まれていませんので、生徒の負担になります。

- ・ 生徒の座学、実技会場までの往復交通費
- ・ 実技での遠征費、食料費、宿泊費(テント場費、小屋泊費)、消耗品などの費用
- ・ 個人装備の購入費用、山岳保険などの保険料等
- ・ スクールの座学、実技以外の各種講習会への参加費
- ・ 研修の各自の交通費、食料費、宿泊費、並びに講師の講習料、交通費、食料費、宿泊費等

③ 山岳保険に加入して頂きます。

保険会社によって、様々な補償がありますが、スクールでは下記の補償が付いていることが必要です。

1. 遭難捜索費用が出ること。
2. T1／アイゼンを使用し、積雪期の登山が対象であること。  
T2、A1、A2／ピッケル、アイゼン、ザイルを使用した登山が対象であること。
3. 個人賠償責任補償が付いていること
  - ・ 山岳保険には、「入院補償(入院、手術、通院等)」が付いていることが望ましいのですが、生徒各自にお任せ致します。別の傷害保険等の活用も可です。  
当連盟では、日山協山岳共済会の「山岳遭難・捜索保険(登山コース)」※を推奨しています。
  - ・ トレッキング1 1SまたはS以上
  - ・ トレッキング2 1SまたはS以上
  - ・ アルパイン1 1CまたはC以上
  - ・ アルパイン2 1CまたはC以上

※上記保険には各種安全登山講習会、山小屋などの優待割引制度、ヒトコ

コ(位置情報発信機)のレンタルサービスを受けられます。

④ PCメールアドレスが必要です。

生徒と山スクール間の連絡、資料及び登山計画の送付等、また、行事へ参加するなどの申し込み等もPCメールを使用して行うことになります。携帯メールアドレスの方は、お送りした資料のプリントができるなどの操作ができる方に限ります(郵送、Fax使用などの連絡はいたしません)。

※T1はZoomおよびLINE環境が必要です。

## (8) 申し込み及び入校までの流れ

- ① **入校説明会 2月16日(木)19:00~20:00**  
オンライン(Zoom)、後日録画を限定公開予定  
HPにて参加手続きを行なって下さい。(説明会に不参加でも受講の応募は可能です。)
- ② **受講の応募期間 2月17日(金)~3月5日(日)**  
HPより必要事項をご確認してご応募下さい。  
**先着順ではありません。**
- ③ **入校判定 3月7日(火)**  
申し込み多数の場合はスタッフにて選定を行ないます。  
経験や体力、年齢等を考慮する場合があります。
- ④ **入校申込み期間 3月8日(水)~ 3月19日(日)**  
「入校が認められた」との連絡が届いてから、期間内に入校申込書、その他所定の書類を提出して下さい。  
※誓約書、車両使用規定は押印、自署が必要ですのでPDF等で送信ください。入校式にて本書を提出していただきます。  
**推奨の日山協山岳共済会の保険手続きは3月22日が締め切りです(各自で手続きをして下さい)。**
- ⑤ **3月末日までに「授業料」の振り込みをお願い致します。**  
(注意) 授業料は原則として理由の如何にかかわらず、払い戻しは致しません。但し、コロナ感染の影響で途中休校とした場合は、相応の返金措置を致します。

### 授業料振り込み先

振り込み費用はご負担ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	408店(ヨンゼロハチテン)
種別	普通 口座番号 5115872
口座名義	一般社団法人大阪府山岳連盟
カナ名義	イッパンシャダンハウジンオオサカフサンガクレンメイ

- ⑥ **開校式 2023年4月5日(水) 19:00~**  
場所:大阪セルロイド会館 3F 会議室  
(終了後、T1、A1、A2は座学①を実施します。)

説明会	受講応募期間	入校判定	入校申込み期間	授業料入金	開校式
2/16	2/17~3/5	3/7	3/8~3/19	~3/31	4/5

連絡先

一般社団法人 大阪府山岳連盟 山スクール

〒537-0014 大阪市東成区大今里西 2-5-12 大阪セルロイド会館 206

Tel: 06-6973-3675

Email : yamaosaka@hera.eonet.ne.jp

